



すり込み仕上げで、色鮮やかに
屋内、屋外で使える

WOOD GEL STAIN

布でサッと塗るだけ

ムラなく仕上がる

天由来の
天然なめらか
ジェル化剤配合

水性 WOOD ジェルステイン

シックなツヤ
700ml

ローズピンク

※色見本は印刷です。実際の色合いとは多少異なります。

標準塗り面積
(2回塗り)

乾燥時間

塗り重ね時間の目安

4.0~7.2㎡
タタミ2.2~4.0枚分

夏期/約30分~1時間
冬期/約2~3時間

夏期/1時間以上
冬期/3時間以上



うすめずに
そのまま
塗って
ください。

防カビ剤、
HALS (紫外線劣化防止剤)、
UVA (紫外線吸収剤) 配合

注意書きをよく読んでから使用して下さい。

商品名 水性 WOOD ジェルステイン 品名 合成樹脂塗料 (水系)
成分 合成樹脂 (アクリル、ウレタン)、顔料、防カビ剤、紫外線劣化防止剤、紫外線吸収剤、水

特長 ・布ですり込むように仕上げるジェルタイプの塗料です。
・虫由来の天然ジェル化剤を配合しているので、塗りやすく、塗りムラになりにくく、きれいな仕上がりになります。
・木目を生かした美しいステイン仕上げができ、日光や雨に強く耐候性が優れています。
・水性ですからニオイが少なく、取扱いが簡単です。 ・防腐・防カビ効果があり、木部を美しく保ちます。

用途 ・屋内外未塗装木部・ハンドクラフト、ホームデコレーションの木部
・テーブル天面、椅子、ベンチなどの屋内木部建具・ラティス、トリス、プランター、ウッドデッキなどの屋
外ガーデン木製品 他の塗料が塗装されている場合は、旧塗膜を充分に取り除いてから塗して下さい。
常時水のかかるところや湿かるところ、いつも湿っているところ、また頻繁に歩行する床面には適しません。

塗装方法 ①塗る面のゴミ・油分・サビ・カビ・ヤニ・ワックスや、旧塗膜などを取り除き、木部の水分を
乾燥させます。下地処理は下記の下地処理の注意に従って行います。②塗料がついて固まるところは、あらか
じめマスキングテープなどでおきます。③使用するときは、フタを指で押さえて容器ごとよく振って中身を
混ぜます。フタをしっかりと開け、容器の口には布をあてて逆さにし、容器の胴体を押して本品を布につけま
す。④布につけた本品を木部へ塗りつけていきます。⑤色は、塗り終った直後に塗りムラで塗装
可能ですが、場合、布塗装に比べて濃く仕上がります。⑥2回塗りを標準とします。塗り重ねは1時間(冬期
は3時間)以上おいてからにします。⑦塗装後、塗装表面にざらつきが生じた場合、サンドペーパー(※320
度)を軽く当ててから塗り重ねると、滑らかに仕上がります。⑧塗り終わったら、すぐにマスキングテープをは
がします。⑨容器の口の周りを布などできれいに拭き取ってからフタを閉めて保管します。

取扱い上の注意 ①表示の用途以外には使用しないで下さい。塗料がすでに塗られている面や
取扱いが難しい化粧板には塗れません。②食品に直接触れるものには塗らないで下さい。③体調の悪い
とき、アレルギー・化学物質に敏感な人は使用しないで下さい。④目に入ったら、皮膚に付着しないよう、また誤飲
しないよう注意して下さい。皮膚に付着したまま放置すると、炎症を起こすことがあります。必ず保護手袋を
着用して下さい。⑤塗装中、乾燥中ともに換気をよくして下さい。⑥塗料がついても支障がない簡装で作業して下
さい。⑦塗装後の雨の降りそうな日や湿度の高い日は避け、天気の良い日に塗って下さい。また、塗装中、乾燥中
ともに5℃以下になるときは塗らないで下さい。⑧塗料のかくはんが不足すると、中身の成分が濃縮するに充分
な効果を発揮できない場合があります。⑨フタを開け閉めする際に塗料が飛び出ることがありますので、フタは
ゆっくりと開け閉めして下さい。⑩クリアは屋外の直射日光が当たった場所では、有彩色に比べて色あせしやすい
傾向があります。⑪下地の色や取扱いの度合いによって仕上がりの状態や色、乾燥性が大きく左右されます
ので、あらかじめ目立たない部分で試し塗りをして、色・浸透性・下地への影響などを確かめてから塗って下さい。
⑫塗り面積・乾燥時間・着色力・色相は、素材・塗り方・気象条件などにより多少異なります。⑬塗装面が雨などで
濡れている場合は、はき物の種類によっては歩行の際に滑りやすくなる場合がありますので注意して下さい。
⑭表示の色は印刷のため、実際の色と多少異なります。⑮容器は塗料を使い切った後から捨てて下さい。廃やを
えず本品を捨てるときは、水性・油性兼用塗料固化剤で固化するか、新聞紙などに塗り広げ、乾かしてから一般
ゴミとして処分して下さい。⑯容器を落下させると、中身が漏れることがありますので取扱いに注意して下さい。

下地処理の注意 ①塗る全面を、木目にそって#240程度のサンドペーパーを使用してきれい
にします。②ヤニが多い箇所は、ラッカーうすめ液でヤニを充分に拭き取って下さい。③他の塗料が塗装さ
れている箇所には使用できません。旧塗膜をワイヤブラシなどを用いて充分に取り除いて下さい。

用具の手入れ方法 塗料が乾かないうちに、水で濡れて下さい。

保管上の注意 ①幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食・いたずらをしないよう
に注意して下さい。②直射日光や火気のある場所、-5℃以下になるところ、自動車内などの高温になるところ
には置かないで下さい。③残った塗料はしっかりとフタを閉めて保管し、できるだけ早く使い切して下さい。

危険



●急性毒性疾患のそれ
●腐食性の障害のそれ
●水生生物に非常に強い毒性

株式会社 ASAHI PEN

大阪市鶴見区
鶴見4-1-12

http://www.asahipen.jp



4 970925 448897

危険

●目に入ったときは、直ちに多量の
水で洗い、できるだけ早く医師の診察を
受けて下さい。●誤って飲み込んだ場
合には、できるだけ早く医師の診察を
受けて下さい。●蒸気、ガスなどを吸い
込んだり、息が苦しくなった場合には、空
気の清浄な場所で安静にし、必要に応
じて医師の診察を受けて下さい。●皮
膚に付着した場合には、多量の石鹸水
で洗い落とし、痛み又は外観に変化のあ
るときは、医師の診察を受けて下さい。

救急
処置

救急
処置

救急
処置

救急
処置

救急
処置

お客様相談室
06-6934-0300

日本製 00-1710 容 器(PET)

フィルム(PET)

キャップ(PP)

容 器(PET)